



2022年2月16日

2021年12月期（第58期） 決算説明資料

共同ピーアール株式会社 [証券コード 2436]

1. 決算ハイライト	・ ・ ・ ・ ・	3 p
2. 本決算 連結決算概要	・ ・ ・ ・ ・	6 p
3. 本決算 単体決算概要	・ ・ ・ ・ ・	11 p
4. 下半期トピックス	・ ・ ・ ・ ・	14 p
5. 経営計画と事業戦略	・ ・ ・ ・ ・	17 p

免責事項：

本資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

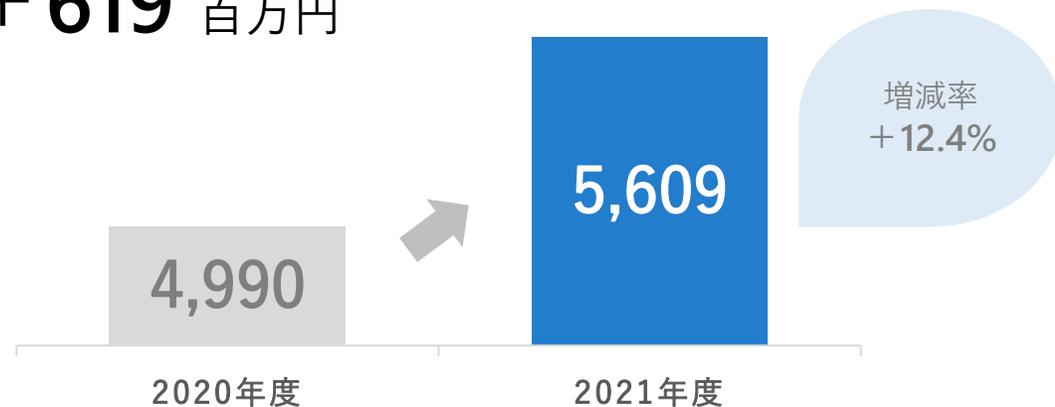
1. 決算ハイライト

2021年12月期

■ 決算ハイライト (連結)

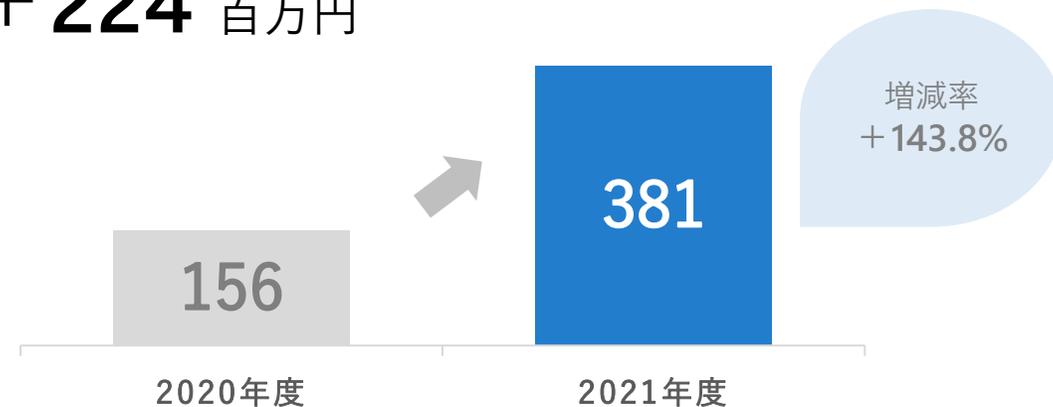
■ 売上高

+ 619 百万円



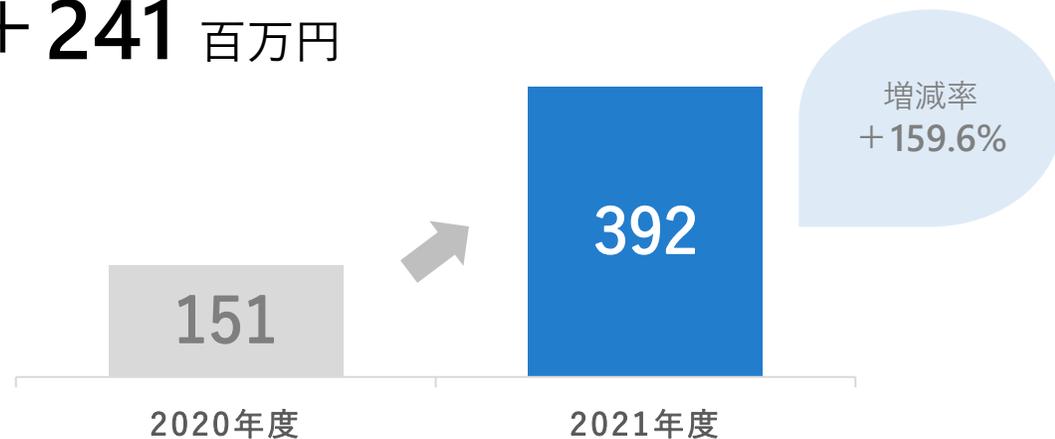
■ 営業利益

+ 224 百万円



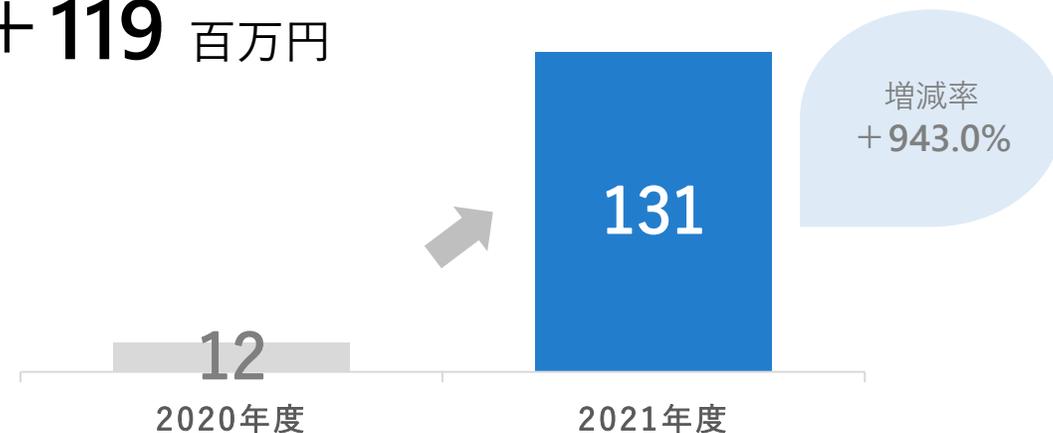
■ 経常利益

+ 241 百万円



■ 親会社株主に帰属する当期純利益

+ 119 百万円



売上高・営業利益

- 売上高 …リテイナー及びオプション＆スポットの増加、ペイドパブリシティの減少により、前年同期比 + 619百万円
- 営業利益 …本社移転により販売費及び一般管理費は増加したが、売上総利益増加により、前年同期比 + 224百万円

セグメント別

- リテイナー …リテイナー契約社数増加により、前年同期に比べ + 162百万円
- オプション＆スポット …国内団体イベント案件、製造業関連顧客のインフルエンサー案件等により前年同期比 + 536百万円

グループ会社

- 共和ピー・アール …オプション＆スポット案件売上の減少により、減収減益
- マンハッタンピープル …映画館の営業再開により回復基調 増収増益

2. 本決算 連結決算概要

2021年12月期

損益計算書

単位：百万円（端数切捨）	2020年12月期 通期累計	2021年12月期 通期累計	増減額	増減率
売上高	4,990	5,609	+ 619	+ 12.4%
売上原価	2,366	2,613	+ 247	+ 10.4%
売上総利益	2,623	2,995	+ 372	+ 14.2%
販管費	2,466	2,614	+ 147	+ 6.0%
人件費	1,889	1,950	+ 61	+ 3.3%
販管費	10	32	+ 21	+ 202.5%
一般管理費	567	630	+ 63	+ 11.2%
営業利益	156	381	+ 224	+ 143.8%
経常利益	151	392	+ 241	+ 159.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12	131	+ 119	+ 943.0%

売上高 [会社別／セグメント別]

単位：百万円（端数切捨）

会社別	2020年12月期 通期累計	2021年12月期 通期累計	増減額	増減率
売上高	4,990	5,609	+ 619	+ 12.4%
共同ピーアール	4,247	4,645	+ 398	+ 9.4%
共和ピー・アール	211	197	△ 14	△ 7.0%
マンハッタンピープル	585	833	+ 248	+ 42.4%

※連結間取引を除く

単位：百万円（端数切捨）

セグメント別	2020年12月期 通期累計	2021年12月期 通期累計	増減額	増減率
売上高	4,990	5,609	+ 619	+ 12.4%
リテイナー	2,283	2,445	+ 162	+ 7.1%
オプション＆スポット	1,915	2,451	+ 536	+ 28.0%
ペイドパブリシティ	791	712	△ 78	△ 10.0%

財務状況

単位：百万円（端数切捨）	2020年12月期 通期累計	2021年12月期 通期累計	増減額	増減率
流動資産	2,442	2,985	+ 542	+ 22.2%
固定資産	607	558	△ 48	△ 8.0%
資産合計	3,049	3,544	+ 494	+ 16.2%
流動負債	890	1,116	+ 225	+ 25.4%
固定負債	345	485	+ 140	+ 40.7%
負債合計	1,235	1,602	+ 366	+ 29.6%
資本合計	1,813	1,941	+ 128	+ 7.1%
自己資本比率	59.2%	54.2%	—	—

キャッシュフロー

単位：百万円（端数切捨）	2020年12月期 通期累計	2021年12月期 通期累計	増減額	主な要因
営業C F	384	441	+ 57	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 税金等調整前当期純利益 + 287百万円 ➤ 投資有価証券及び株式評価損 + 85百万円 ➤ 売上債権の増加 △84百万円 ➤ 棚卸資産の増加 △62百万円
投資C F	△ 101	△ 25	+ 76	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 敷金及び保証金の回収 + 149百万円 ➤ 固定資産の取得 △155百万円
財務C F	241	15	△ 226	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 長期借入金の借入 + 300百万円 ➤ 短期借入金の返済 △100百万円 ➤ 長期借入金の返済 △132百万円
現金及び現金同等物	1,488	1,916	+ 428	

3. 本決算 単体決算概要

2021年12月期

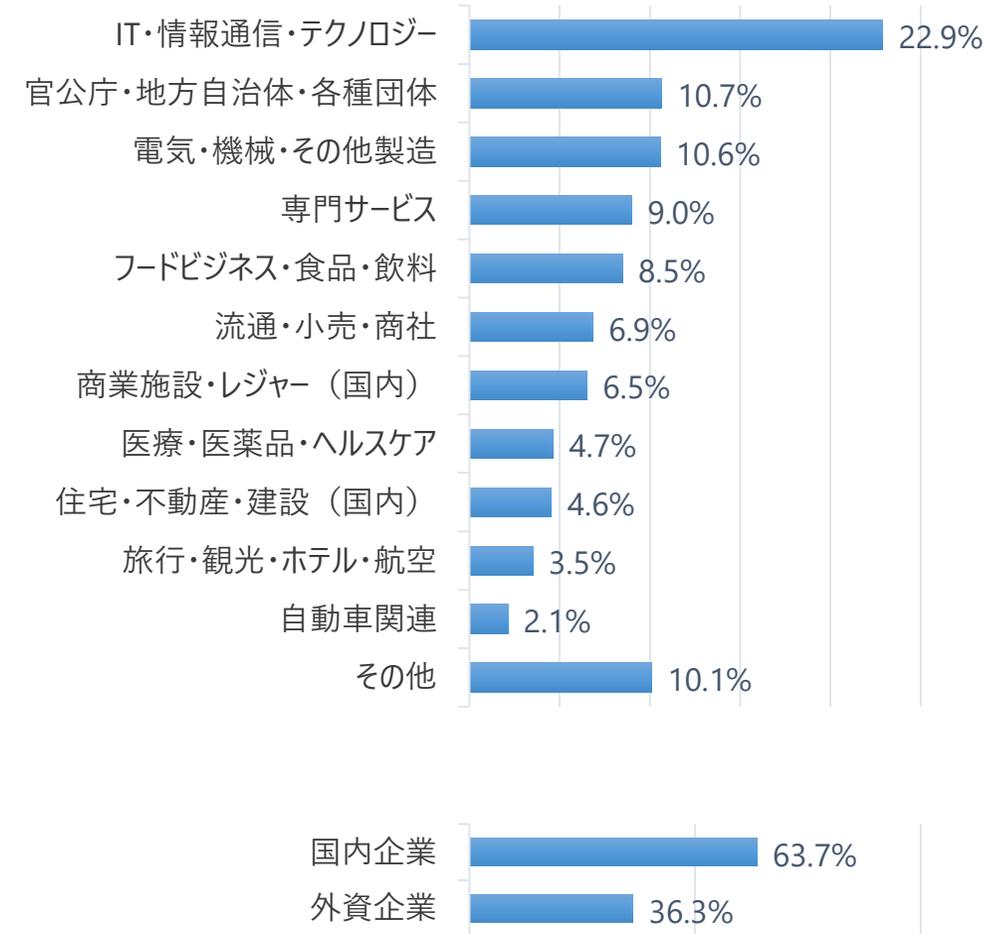
損益計算書

単位：百万円（端数切捨）

	2020年12月期 通期累計	2021年12月期 通期累計	増減額	増減率
売上高	4,247	4,645	+ 398	+ 9.4%
売上原価	2,044	2,145	+ 101	+ 5.0%
売上総利益	2,203	2,499	+ 296	+ 13.4%
販管費	2,073	2,170	+ 97	+ 4.7%
営業利益	130	328	+ 198	+ 152.9%
経常利益	124	338	+ 213	+ 170.6%
当期純利益	△ 3	115	+ 118	—

リテイナー売上構成および外資比率

リテイナー売上構成	2020年12月期 通期累計	2021年12月期 通期累計	増減ポイント
IT・情報通信・テクノロジー	21.3%	22.9%	+ 1.6
官公庁・地方自治体・各種団体	8.6%	10.7%	+ 2.1
電気・機械・その他製造	9.8%	10.6%	+ 0.7
専門サービス	4.3%	9.0%	+ 4.7
フードビジネス・食品・飲料	8.2%	8.5%	+ 0.3
流通・小売・商社	6.9%	6.9%	△ 0.1
商業施設・レジャー	7.1%	6.5%	△ 0.6
医療・医薬品・ヘルスケア	4.0%	4.7%	+ 0.6
住宅・不動産・建設	7.7%	4.6%	△ 3.2
旅行・観光・ホテル・航空	5.4%	3.5%	△ 1.9
自動車関連	2.9%	2.1%	△ 0.8
その他	13.7%	10.1%	△ 3.6
外資比率	2020年12月期 通期累計	2021年12月期 通期累計	増減ポイント
国内企業	63.2%	63.7%	+ 0.5
外資企業	36.8%	36.3%	△ 0.5



4. 下半期トピックス

2021年12月期

会社の活動

※一部ご紹介

情報セキュリティの強化

2021年9月

国際規格認証「ISO27001」を全社で取得し、情報セキュリティの強化を行いました。



Webクリッピングサービスの開発

2021年9月

資本業務提携のキーウォーカーと広報・PRの効果計測を行うWebクリッピングサービスの共同開発を開始しました。



名古屋支店開設記念企画 「広報戦略セミナー」開催

2021年10月

名古屋支店開設を記念し、「広報戦略セミナー」を開催。

日本経済新聞社東京本社企業報道部長を講師に迎え、来場・オンライン併せて**90名**の広報責任者、担当者の皆様にご参加いただきました。



株式会社VAZ 連結子会社化

2021年12月

資本業務提携の株式会社VAZを連結子会社化。

インフルエンサーマーケティング事業の強化を目指します。



PR活動

※一部ご紹介

サラダクラブ オンライン発表会を実施

2021年7月

サラダ白書オンライン記者会見を新社屋スタジオで実施しました。

当社は2021年度、オンライン会見を**72**件実施。今後益々の需要を見込んでいます。



空き家問題解決の糸口 空き家活用サービスPR

2021年8月

社会問題でもある空き家問題の解決に向けて、株式会社ジェクトワンが空き家活用サービスを開始し、そのサポートを行いました。



株式会社エアウィーブ 北京五輪日本代表選手団サポート発表会

2021年11月

株式会社エアウィーブによる北京オリンピック日本代表選手団サポート発表会をPRサポートしました。



邦画実写版 興行収入TOP3の映画PR

2021年の年間興行収入※における邦画実写版映画の**第1～3位**の映画PRを、子会社のマンハッタンピープルが行いました。

- 第1位「嵐ARASHI Anniversary Tour 5x20 FILM"Record of Memories"」
- 第2位「東京リベンジャーズ」
- 第3位「るろうに剣心 最終章The Final」



※映倫規定：2020年12月1日～2021年11月30日公開作品対象

5. 経営計画と事業戦略

2022年12月期

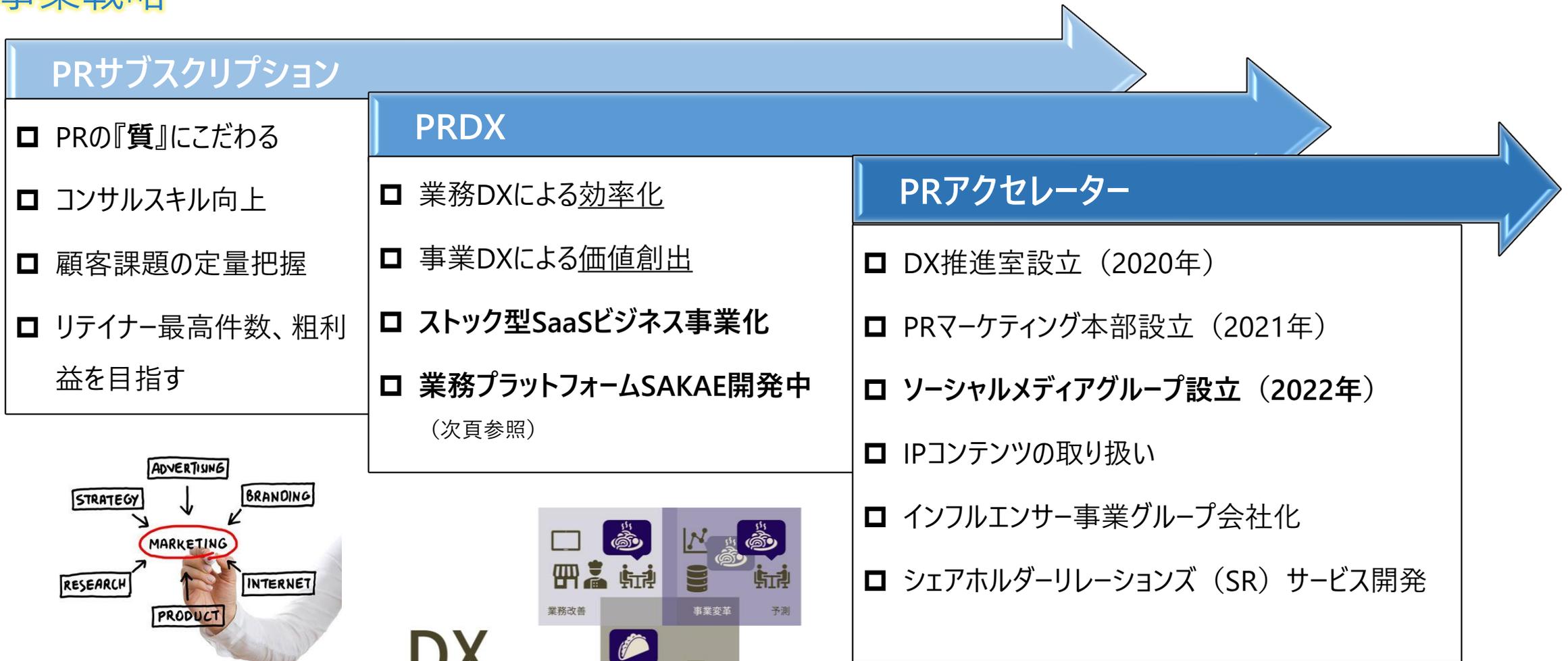
経営計画

単位：百万円（端数切捨）	2021年12月期 実績（旧会計）	2022年12月期 予想（旧会計）	2022年12月期 予想（新会計※）	前年対比 （旧会計）
連結				
売上高（売上純額）	5,609	6,560	4,098	117.0%
営業利益	381	451	451	118.2%
経常利益	392	450	450	114.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	131	283	283	206.9%

単位：百万円（端数切捨）	2021年12月期 実績（旧会計）	2022年12月期 予想（旧会計）	2022年12月期 予想（新会計※）	前年対比 （旧会計）
単体				
売上高（売上純額）	4,645	4,800	2,928	103.3%
営業利益	328	405	405	123.5%
経常利益	338	405	405	119.8%
当期純利益	115	255	255	221.9%

※新会計については、p.21「会計処理の変更についてのお知らせ」をご参照ください。

事業戦略

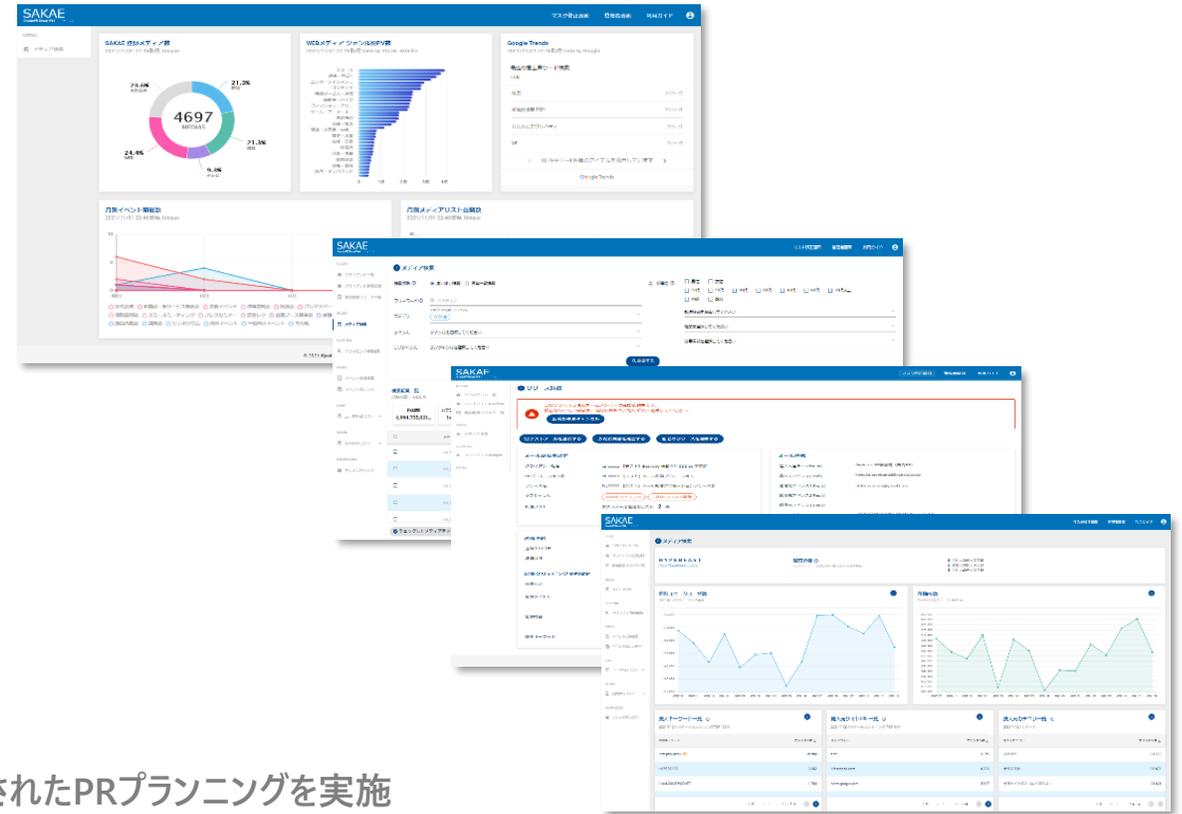
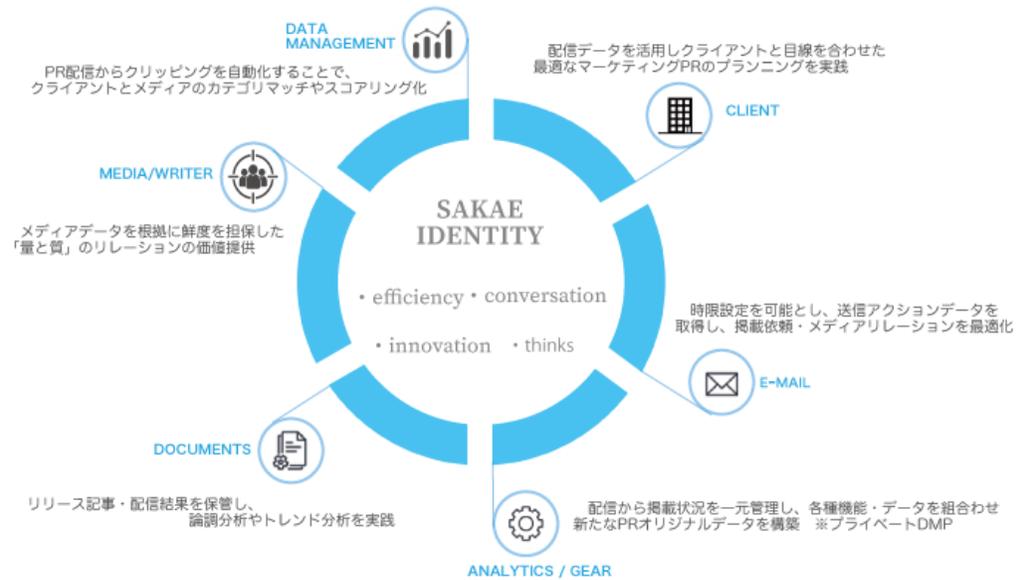


DX
Digital Transformation



事業戦略

業務プラットフォーム「SAKAE」とは・・・



メディア軸 : 配信先メディアのデータベースを構築・定性から定量化されたPRプランニングを実施

クライアント軸 : 配信結果、リリース記事のWEBクリッピングや分析レポートを自動化

順次、追加機能を開発中

2022年6月以降、一部機能を解放しスタートアップ企業向けSaaS型_PR配信サービスをリリース予定

■ 会計処理の変更についてのお知らせ

新収益認識基準の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年12月期より適用いたします。
支配していない仕入（＝【代理人取引】）は売上計上せず、減額・相殺処理をして売上を計上します。
※【代理人取引】とは、クライアントの依頼に基づいて手配する外注先からの仕入等を指します。

原価計上処理の変更

プロジェクト毎の原価管理を徹底するため、販管費で処理していた、受注したプロジェクト毎の作業に関連する人件費やそれに付帯する間接経費を原価に変更計上します。



IR情報

<https://www.kyodo-pr.co.jp/investor/>



E-mail

contactir@kyodo-pr.co.jp

共同ピール株式会社